

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

996

担い手等育成事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	1	担い手の育成・確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農業費		
	目	農業振興費		
	大事業	農業振興事業		
	中事業	担い手等育成事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	農林水産課	佐々木 茂彰 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	担い手の農業経営の改善を推進する。		農機具、農業用設備等の購入、農業用井戸の設置、市民農園の開設に要する費用の助成等を行う。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		補助事業 ・農地集積協力金 ・野菜花き産地総合支援事業補助金 ・野菜産地化推進事業補助金 ・生活営農資金利子補給金	補助事業 ・農地集積協力金 ・野菜花き産地総合支援事業補助金 ・野菜産地化推進事業補助金 ・生活営農資金利子補給金	・非かん水期の農業用水を確保するための打ち抜き井戸の設置費を補助 ・省エネ、高品質、省力・低コスト等の対策に取り組む団体に補助 ・人・農地プランに位置付けられた中心経営体が、農業用機械・施設を導入する費用を助成	・非かん水期の農業用水を確保するための打ち抜き井戸の設置費を補助 ・省エネ、高品質、省力・低コスト等の対策に取り組む団体に補助 ・人・農地プランに位置付けられた中心経営体が、農業用機械・施設を導入する費用を助成	・非かん水期の農業用水を確保するための打ち抜き井戸の設置費を補助 ・省エネ、高品質、省力・低コスト等の対策に取り組む団体に補助 ・人・農地プランに位置付けられた中心経営体が、農業用機械・施設を導入する費用を助成

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	7,051	4,576	7,245	7,125	6,744	7,822	5,285	0	5,285	0	
伸び率(%)	23.1%	33.1%	2.8%	55.7%	△6.9%	9.8%	△21.6%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	0	3,749	4,228	4,236	7,353	8,632	0	8,632	0
	正規職員以外	0	0	0	225	224	0	0	0	0	
	小計	0	0	3,749	4,453	4,460	7,353	8,632	0	8,632	0
国庫支出金	20	0	10	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	10	0	510	0	510	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	779	779	771	771	771	764	756	0	756	0	
一般財源(税等)	6,252	3,797	6,464	6,354	5,963	7,058	4,019	0	4,019	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.47	0.53	0.53	0.92	1.08	0.00	1.08	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.09	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	野菜等産地化推進事業補助金 2,000千円、野菜花き産地総合支援事業 4,734千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	広報媒体数	媒体	目標値	1	1	1	5	5
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
成果指標	井戸の設置本数	本	目標値	40	40	40		
			実績値	40	48	40		
			達成度(%)	100%	120%	100%	0%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	農業用井戸の設置補助や施設整備費の補助については、要望をすべて満たすことができた。
見直し・改善内容	平成31年度からは市民農園の設置・拡大に伴う経費を補助する制度を設け、担い手の更なる農業経営の改善を図る。